

ブロッコリーのアブラムシ類に対する薬剤の防除効果

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

県内のブロッコリー栽培において、アブラムシ類（モモアカアブラムシ、ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ等）の発生が問題となっており、その要因として一部の薬剤の効果低下が懸念されている。そこで、生産現場において使用されている数種薬剤について、モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシに対する防除効果を改めて確認した。

(2) 情報・成果の要約

- 1) モモアカアブラムシに対して、アクタラ顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、アディオン乳剤、コルト顆粒水和剤は防除効果が高かった。
- 2) ニセダイコンアブラムシに対して、アクタラ顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、リーフガード顆粒水和剤、アディオン乳剤、モベントフロアブル、コルト顆粒水和剤は防除効果が高かった。
- 3) 今回の試験事例では、供試した薬剤において、モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシに対して防除効果の低い薬剤は確認されなかったため、抵抗性の発達による薬剤の効果低下の可能性は低いと考えられた。

2 試験成果の概要

- (1) モモアカアブラムシは4月24日定植の‘恵麟’を用い、5月11日に薬剤散布を行った。その結果、アクタラ顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、アディオン乳剤、コルト顆粒水和剤は散布4日後、7日後の補正密度指数が5以下と高い防除効果が認められた。また、リーフガード顆粒水和剤、ウララDF、モベントフロアブルは前述の薬剤よりも効果が劣るものの防除効果が認められた。
- (2) ニセダイコンアブラムシは8月23日定植の‘グリーンキャノン’を用い、9月13日に薬剤散布を行った。その結果、アクタラ顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、リーフガード顆粒水和剤、アディオン乳剤、モベントフロアブル、コルト顆粒水和剤は散布6日後の補正密度指数が5以下と高い防除効果が認められた。ウララDFは、散布2日後には高い防除効果が認められたが、散布6日後にやや効果が劣る傾向であった。
- (3) 以上の結果より、モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシの両種に対して、アクタラ顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤、アディオン乳剤、コルト顆粒水和剤は高い防除効果が認められた。

